

Nippon所藏

「日本人」
「お化け」好き！

橫跨各個領域的「鬼怪」題材，
成爲日本重要的多元文化。

平安時代
二大ヒーロー

跟從「安倍晴明」與「小野篁」
一同穿梭陰陽兩界！

日本
三大怪談

隨《東海道四谷怪談》《番町皿屋敷》《怪談
牡丹燈籠》感受阿岩、阿菊、阿露的恨身愁。

「百」化繚亂
妖怪大圖鑑

活靈活現描繪妖怪圖鑑，
圖文並茂探究妖怪的起源與軼事。

日本 妖怪 100抄

EZ Japan

日語嚴選講座！
N3~N1

怪談文豪
紹介

從江戶時代的「上田秋成」至現代的
「京極夏彦」，一窺「怪談」的謎樣空間。

「今昔物語集」に
現われる妖怪

日本古典文學之傑作，
豐富生動的妖怪世界其中？

橫亘古今！網羅
歷史、文學、文化

深入理解「妖怪」
與日本的不解之緣。

Nippon所藏 日本妖怪100抄

CONTENTS

第一章 專題特輯

鬼怪 vs. 日本人：日本人很喜歡「鬼怪」！

- 06 專題 何謂「鬼怪」？
專題 關於「妖怪」與「幽靈」的差別
專題 害怕「鬼怪」的時代——平安時代
專題 享受「鬼怪」的時代——江戶時代
專題 「鬼怪」與近代文學
專題 「鬼怪」與漫畫、動畫

鬼怪 vs. 二次元世界

- 09 專題 《小鬼Q太郎》
專題 《GEGEGEの鬼太郎》
- 10 專題 《常生眼》
專題 《靈異教師神眉》
- 11 專題 《多羅羅》
專題 《妖怪人間貝母》
- 12 專題 《鬼燈的冷徹》
專題 《妖怪手錶》
- 13 專題 《犬夜叉》
專題 《幽游》

妖怪獵人

- 14 專題 薰妻鳴荷
- 16 專題 源朝光
- 18 專題 源賴政
- 20 專題 宮本武藏

第二章 平安時代橫跨陰陽界的兩大英雄

- 24 神祕的な冥官——小野篁
神祕的冥官——小野篁
- 30 國民的大陰陽師——安倍晴明
國民大陰陽師——安倍晴明



第三章 怪談文豪介紹

- 36 江戸怪談文學の完成者——上田秋成
江戸怪談文學の完成者——上田秋成
- 40 「お化け」を愛した文豪——泉鏡花
熱愛「鬼怪」的文豪——泉鏡花
- 44 日本の怪談を發掘した異邦人——小泉八雲
發掘日本怪談的異邦人——小泉八雲
- 48 妖怪に形を与えた漫画家——水木しげる
賦予妖怪動物形象的漫畫大師——水木茂
- 50 「伝説」的な怪談小説家——京極夏彦
「傳説」中的怪談小說家——京極夏彦
- 52 意外に怪談を書いている？——村上春樹
意外寫到怪談？——村上春樹
- 54 安倍晴明と言えばこの人——夢枕獯
談起安倍晴明不得不提這個人——夢枕獯

第四章 《今昔物語集》妖怪現身！

- 58 「出るぞ、出るぞ～」篇
「出現囉～出現囉～」篇
- 66 「こんなに化けてどうするの？」篇
「變身成這程度該怎麼辦？」篇
- 74 「妖怪いろいろ、女もいろいろ」篇
「妖怪有很多種、女生也有很多種」篇
- 80 「行ったら後悔しますよ」篇
「去的話會後悔囉」篇

第五章 女人好可怕？生靈與死靈

- 84 「源氏物語」——六条御息所
《源氏物語》——六條御息所
- 86 「東海道四谷怪談」——お岩
《東海道四谷怪談》——阿岩
- 88 「番町皿屋敷」——お菊
《番町皿屋敷》——阿菊
- 90 「牡丹灯籠」——お露
《牡丹燈籠》——阿露

第六章 日本全國當地妖怪特輯

- 94 〔北海道〕 コロボックル
克魯波克魯
- 96 〔岩手〕 座敷童子
座敷童子
- 98 〔山形〕 雪女
雪女
- 100 〔群馬〕 文福茶釜
文福茶釜
- 102 〔栃木〕 九尾の狐
九尾狐
- 104 〔東京〕 置行堀
置行堀
- 106 〔神奈川〕 舞首
舞首
- 108 〔岐阜〕 覺
覺
- 110 〔京都〕 つるべ落とし
吊桶落
- 112 〔和歌山〕 一本だたら
一本稻穗
- 114 〔山口〕 平家の幽霊
平家幽靈
- 116 〔広島〕 山本五郎左衛門
山本五郎左衛門
- 118 〔大分〕 件
件
- 120 〔長崎〕 足長手長
足長手長
- 122 〔沖縄〕 キジマナー
樹精



第七章 百「化」繚亂——
江戸時代妖怪大圖鑑

- 126 鬼
- 127 河童
- 128 天狗
- 129 垢齋
- 130 海座頭
- 131 姑獲鳥
- 132 ろくろ首
- 133 橋姫
- 134 般若
- 135 猫又
- 136 輸入道

- 137 鎌鼬
- 138 雨降小僧
- 139 目目連

第八章 彙集一百個怪談、怪事便會上門——
日本傳統百物語

- 142 體驗 | 何謂「百物語」?



作者 企圖 企圖
主編 實任編輯
責任編輯 實任編輯
校文 實任編輯
配音 實任編輯
原畫設計 實任編輯
內頁排版 實任編輯
錄音製 實任編輯
發行人 實任編輯
編輯 實任編輯
法律顧問 實任編輯
出版顧問 實任編輯
地址 實任編輯
製作 實任編輯
寄版情報
寄版價目
郵政振替
總經銷 實任編輯
電話 實任編輯
印刷 實任編輯
定價 實任編輯
ISBN 實任編輯

◎ 版權所有 翻印必究
◎ 本書如有缺頁、破損、裝訂錯誤，
請寄回本公司更換

日本版 (0019) Nippon 西蔵日語翻譯課
/ 戶田一康、E22nippon 編輯部作。
— 1 版發 — 東京都：日語文化、2016.07
144 頁：21×28 公分。(0Nippon 所屬：4)
ISBN 978-486-248-947-5 (平裝附光碟片)
2016年7月
3,950 円

L 日語 2 課本
801.18 1045007976

戶田一康
藤子逸
藤原幸
松子直
水瀨、晴聖堂、味鬼、繪者
今東江利子、軍求發、仁容直
許世龍
建日電腦排版公司
純祥錄音製有限公司
洪鎮祥
林建英
王聖平
建日法律事務所
高峯會社事務所
日本文學出版股份有限公司
E22nippon 編輯部
東京市港區路三段1丁目1番1樓
(03) 5561-3333
(03) 5561-3336
http://e22nippon.com
http://kagekiyokan.com
1-2-1-10602-1 日本文學出版股份有限公司
聯合發行股份有限公司
(02) 2991-1404-7
(02) 2991-1405-1
此兩電音也有有限公司
2016年7月
3,950 円



第一章
專題特輯

鬼怪 vs. 日本人；
日本人喜歡「鬼怪」!

專欄 「お化け」とは何か?

何謂「鬼怪」?

專欄 「妖怪」と「幽霊」の違いについて

鬼太郎と貞子

題材「妖怪」與「幽霊」的差別——鬼太郎與貞子

專欄 「お化け」を恐れる時代——平安時代～

陰陽師の活躍

何謂「鬼怪」的時代——平安時代～陰陽師的活躍

專欄 「お化け」を楽しむ時代——江戸時代～

歌舞伎、小説及び百物語等の流行

享受「鬼怪」的時代——江戸時代～歌舞伎、小説及百物語等の流行

專欄 「お化け」と近代文学——

文豪と妖怪の関係

「鬼怪」與近代文學——文學與妖怪的關係

專欄 「お化け」と漫画・アニメ——

多様化する「お化け」の今

「鬼怪」與漫畫、動畫——「鬼怪」多角化的現代

鬼怪 vs. 二次元世界

專欄 「オバケのQ太郎」

(少年Q太郎)

專欄 「ゲゲゲの鬼太郎」

(GEGEGE 的鬼太郎)

專欄 「寄生獣」

(寄生獣)

專欄 「地獄先生ぬ〜べ〜」

(地獄教師神田)

專欄 「どろろ」

(多羅羅)

專欄 「妖怪人間ベム」

(妖怪人間貝姆)

專欄 「鬼灯の冷徹」

(鬼燈的冷徹)

專欄 「妖怪ウォッチ」

(妖怪手表)

專欄 「犬夜叉」

(犬夜叉)

專欄 「幽霊」

(幽霊)

妖怪獵人

專欄 素戔鳴神

(素戔鳴神)

專欄 源朝光

(源朝光)

專欄 源朝政

(源朝政)

專欄 宮本武藏

(宮本武藏)

よう かい

妖怪ハンターズ

YOUKAI HUNTERS

17

素戔嗚尊

ナニのおのろこ

素戔嗚尊

古来—
素戔嗚尊は闇を恐れ、
闇に潜む妖怪を恐れてきた。

しかし、そんな恐るべき妖怪に、勇敢にも立ち向かう男たちがいた……。この章では、日本妖怪史にその名を刻んだ、偉大な「妖怪ハンター」たちを紹介しよう！

自古以來—
人們怕黑，
也害怕棲息在黑暗中的妖怪。

但，也有勇敢對抗那可怕妖怪的男人們……
這章要向大家介紹名留日本妖怪史的偉大「妖怪獵人」們！



▲(素戔嗚尊八岐大蛇) (相澤周延 繪) / wikipedia

ハンターファイル

獵人檔案

名前：素戔嗚尊
人物：日本神話に登場する神
特色：日本の神々の中で、一二を争う武闘派。
秘宝兵器：十握劍
弱点：かわいそうな美少女を見かけると、放っておけない。

姓名：素戔嗚尊
身分：日本神話中的神明
特色：日本神明中數一數二的武鬥派。
秘宝武器：十握劍
弱點：看到可憐的美少女無法置之不理。

妖怪ファイル

妖怪檔案

名前：八岐大蛇
身体的特徴：頭が八つ、尻尾が八本ある大蛇
習性：若い美女と酒を愛する「オジサン」系妖怪。
属性：酒に自がない。酔うとすぐ寝る。

名稱：八岐大蛇
外形特徵：有八個頭、八條尾巴的巨大。
習性：愛年輕美女、愛喝酒的「歐吉桑」系妖怪。
弱點：嗜酒如命、一喝醉就馬上睡著。

VS.

物語

故事 01

素戔嗚尊は出雲国（現在の島根県東部）で、美少女の神——櫛名田比売が泣いているのを見かける。「一体、何があったのか」と素戔嗚尊が聞くと、櫛名田比売はこう答えた。「八岐大蛇という妖怪が毎年この地に現われ、若い女を一人、買物として差し出せと言うのですが、今年はとうとう私の番になってしまったのでございます」。そこで素戔嗚尊は彼女を救ってやることにした。

素戔嗚尊はまず強い酒を用意すると、八つの門を作り、酒を門の後ろに置いた。その晚、果たして八岐大蛇が現われた。八岐大蛇は酒のいい匂いをかぐと、大喜びで八つの頭全てをそれぞれ門の中に入れて酒を飲み始めた。飲んで飲んで、最後は地面に倒れ伏して眠ってしまった！しかも、全部の頭が門に引っかかって身動き一つすることができない。この時、素戔嗚尊は十握劍を抜き放ち、八岐大蛇を斬り殺したのである。最後の一本の尻尾を斬った時、剣が何か頑い物に触れた。不思議に思った素戔嗚尊がよく見ると、なんとそれは「ふりの美しくも鋭利な名劍であった。この劍は草薙劍と言ひ、以後「三種の神器」（天皇家に伝わる三つの家宝）の一つとなった。

八岐大蛇を退治した後、素戔嗚尊は櫛名田比売を娶つたと言う。

素戔嗚尊が出雲国（現在の島根県東部）に看到在哭這的美少女神明——櫛名田比賣。素戔嗚尊問道：「究竟發生何事？」櫛名田比賣回答：「名叫八岐大蛇的妖怪每年都現身於此，要求一箇年輕女作為犧牲品，今年終於輪到我了！」於是素戔嗚尊決定救她。

素戔嗚尊先準備烈酒，再造了八個門，把酒放在門後。當晚，八岐大蛇果然現身了。牠一箇到酒香的話，就興高采烈地把八個頭全部往各個門裡衝進去開始喝酒。喝著喝著，最後躺在地上睡著了！而且每個頭被門卡住，動彈不得。此時，素戔嗚尊拔出十握劍，砍死了八岐大蛇。砍到最後一條尾巴時，劍似乎碰到了硬物，感到不可思議的素戔嗚尊，仔細一看，竟是一把漂亮又鋒利的名劍。這把劍叫做「草薙劍」，從此成為「三種寶」（天皇家的三種傳世寶貴）之一。據說創伏八岐大蛇後，素戔嗚尊便娶櫛名田比賣為妻。

推薦給想更进一步瞭解的人！

讀了這篇故事後，若對日本神話有興趣的話，推薦您閱讀一本被認為是日本第一本歷史書——《古事記》（712年）。雖然原文複雜，但也有多種日語白話版本或漫畫版囉！

あててみて！
猜猜看！

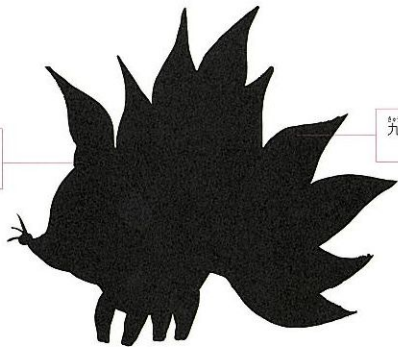


かさ
路の葉
斗笠

身長は数センチしかない
身高只有幾公分



美女に姿身する
會化身為美女



九本の尻尾をもつ
有九條尾巴



第二章

現実と異界のはざまに立つ、平安時代二大ヒーロー
平安時代横跨陰陽界の兩大英雄

神秘的な冥官——小野篁
神秘的冥官——小野篁

小野篁と嵯峨天皇
小野篁與嵯峨天皇

「子子子子子子子子子子」
「子子子子子子子子子子」

遣唐使事件
遣唐使事件

不思議な能力
不可思議的能力

国民的大陰陽師——安倍晴明
國民大陰陽師——安倍晴明

天才的な陰陽師
天才陰陽師

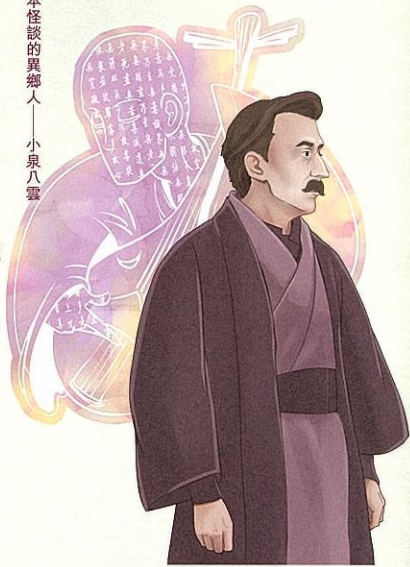
不時の來客
不速之客

恐ろしい力
可怕的力量

小泉八雲

にほんの かいだん
日本の怪談を
いざみ ぼくつ
や かいじん
くも
掘った異邦人

国産洋装
登場人物
發掘日本怪談的異邦人——小泉八雲



- 1 前編
創劇性地
- 2 幕
幕幕、幕幕
- 3 幕
幕幕、幕幕
- 4 幕
幕幕、幕幕
- 5 幕
幕幕、幕幕
- 6 幕
幕幕、幕幕
- 7 幕
幕幕、幕幕
- 8 幕
幕幕、幕幕

明治時代になって、日本の社会は劇的に変わった。「土農工商」という身分制度がなくなり、試験に合格しさえすれば、誰でも教育を受け、様々な分野で活躍できる社会になった。日本は欧米のような近代国家となることを目指したのだが、こうした急激な変化は、近代以前の日本を否定する風潮を生み出していました。

「舶来物」と呼ばれる外国製品が爆発し、伝統的な日本の物は価値がないとみなされた

この時代に、若い日本の中に隠された「新斬な魅力」を発掘した人がいる。皮肉なことに、彼は「新しさ」の象徴であるアメリカから来た一人の英語教師だった。その名をラフカディオ・ハーン（小泉八雲）と言う。

ハーンが引かれたのは、主に昔の怪異な物語だった。ハーンはそれらを材料に英語で創作した。恐ろしくも美しい「昔おんな」(YUKI-ONNA)、身の毛もよだつ「耳なし男」(The Story of Mimi-nashi-Hoichi)

- 6 大敵母
結婚・此劇・小泉八雲の父
の結婚。
- 7 引成成る
コップ
- 8 コンプレックス
自卑感・(英: complex)
- 9 もちこ
母親
- 10 結託
信託・結婚前部、有「小泉八雲記念館」。
- 11 江戸時代の身分制度
最上級の階層が武士、其次が農民、第三が工人、最下層が商人。

等。日本人なら誰でも知っている怪談は、この異邦人によって歴史の主の中から発掘された宝である。

1850年に、ギリシャの島で生まれたハーンは、六歳の時、両親が離婚し、大敌母¹に引き取られる。十三歳の時、イギリスの神学校に入学するが、在学中に事故で左目を失明する。生業が低く、窮乏であった彼は、この事件で精神的に大きな打撃を受ける。不幸な家庭環境、身体的なコンプレックス²は、前述の上田秋成と共通している。後に、ハーンは秋成の『菊花の約』を元にした『約束の果』(Of a Promise Kept)を書くが、それは時空と国境を超えた二人の怪談文家の出会いだと言えよう。

1867年、大敵母が破産したので、ハーンは神学校を中退し、フランスへ渡る。1869年に、一人でアメリカに渡った。様々な仕事を経験した後、新聞記者になるが、一方、フランス語能力を活かしてフランス文学の翻訳をしたり、自分でも小説を書き出したりした。1890年、三十九歳の時、雑誌社の特派員と

「ええ〜!」

意見表明某事能實現或不必擔心、可譯為「只要〜就〜」。

「〜傍ら、〜」

表示在從前主要活動、工外、還在同時做了後項的事物。

して来日する。来日後間もなく、雑誌社との間にめもこと³が起り、記者を辞めて島根縣松江中学校の英語教師になった。この松江⁴の地で小泉節子⁵を知り、結婚する。

日本人女性と結婚し、子供も生まれたハーンは、1895年日本に帰化し、小泉八雲と改名した。東京大学や早稲田大学で英語や英米文学史⁶を教える傍ら、日本に關するエッセイや怪談を多数執筆したが、代表作である「怪談」(KWAIDAN)が出版された1904年に、心臓発作で逝ってしまう。まだ五十四歳だった。八雲の怪談やエッセイは日本語に訳された。今でも日本人に愛読されている。八雲の作品の中には、現代の日本人が既に忘れてしまった「日本」が描かれているからかもしれない。芳留啓さんに紹介するのは、「怪談」の中の一篇、「むじな」(Mujina)という短編小説である。

秋成の『菊花の約』が素材形成《被遵守的約定》、這可說兩位怪談文豪超越時空、跨國境相約。

1867年、因為姑婆破產，Hearn 自神學校中輟，搬到法國。1869年，一個人到美國，經歷各式各樣的工作後，當上報社記者，同時，活用法語能力翻譯法蘭西文學，並開始了自己的小說創作。1890年，三十九歲的他離開了祖國的島身來到日本。遊學多久，與雜誌社之間發生糾紛，辭掉記者一職，成為島根縣松江中學的英文教師。在松江這座地方認識了小泉節子而與她結婚。

與日本女性結婚生子的 Hearn，於 1895 年歸化日本，改名為小泉八雲，一邊在東京大學、早稻田大學教授英文、英美文學史等，一邊寫許多與日本有關的散文和怪談，但他卻在代表作《怪談》出版的 1904 年，因心臟病發作逝世，享年五十四歲。八雲的怪談和散文也許是翻譯成日文，至今仍為日本人所喜愛。也許是認為在八雲的作品中，描寫著現代日本人已遺忘的「日本」之故。

這次向大家介紹的是《怪談》中一篇名為《翁》的短篇小說。

55

かん 巻 に じゅう さん の じゅう なな



図/雅兔 8 枚



- 1 美濃狐
現在の「美濃狐」。
- 2 百人方
百人之力。
- 3 半妖
半人半妖的存在。
- 4 尾張狐
現在の「愛知狐」。
- 5 源氏物語
平安時代(794~1185)
中期女性家系式典的典
小説「源氏物語」の
源氏・内宮御膳所主
「光源氏」の愛憎故事。

外国人の目から見ると、日本女性のイメージは「やさしくて、上品」だそうだが、本当にそうなのだろうか。もしあなたがおそうじしているなら、以下の物語を読んでみてほしい。

美濃^{みのう}に、「美濃^{みのう}の狐^{きつね}」と呼ばれる女^{おんな}がいた。

伝説^{でんせつ}によると、この女の先祖^{せんぞ}は狐^{きつね}を妻^{つま}にしたのだそうだ。日本最強^{にっぽん最強}の陰陽師^{おんりょうし}と称^{なづ}される安倍晴明^{あべはるあき}も、母親^{はは}が狐^{きつね}だという説^{せつ}がある。平安時代^{へいあん時代}、狐^{きつね}という

のは非常に強い魔力^{まじり}を持つ動物^{どうぶつ}と考えられていたのだ。

この美濃^{みのう}の狐^{きつね}は百人方^{ひゃくにんがた}で、誰もかなわない。それをよこごに、市場^{いちば}で商人^{しょうにん}から強奪^{きやうだつ}して暮^{くらし}らしていた。まったく、とんでもない半妖^{はんえい}である。

当時^{たうじ}、尾張^{おわり}に一人^{ひとり}の女^{おんな}がいた。名^なはわからない。この時代^{じだい}は、文書^{ぶんしょ}に女性の名前^{なまえ}は記載^{きざい}されないので。例えば、「源氏物語^{げんじものがたり}」の作者^{さうしや}紫式部^{むらさきしきぶ}も本名^{ほんな}ではない。「紫^{むらさき}」というの、

「源氏物語^{げんじものがたり}」のヒロインの名前^{なまえ}であるし、「式部^{しきぶ}」は彼女の父親^{ちち}の官職^{くわんしやく}名^なである。

さて、尾張^{おわり}の女^{おんな}は美濃^{みのう}の狐^{きつね}の噂^{うわさ}を聞くと、笑^{わら}って言った。「じゃあ、わたしがその女^{おんな}の力を試^{ため}してみようわ!」この言葉^{ことば}を聞いた人は、皆^{みな}、びっくりした。小柄^{こてい}で、見た目はかわいい女^{おんな}だったからだ。

美濃^{みのう}の女^{おんな}はたたくさんの狐^{きつね}と二半^{にはん}の轢^はを贈^{くわ}るよ」と、話^{はなし}で美濃^{みのう}へ向^{むか}った。

- 6 轢
贈る。
- 7 用意する準備
準備。
- 8 ついに
結果。
- 9 感傷^{かんじやう}にされる
感傷^{かんじやう}にされる。
- 10 てって
去^いる「去^いる」或^ま「去^いる」第一動作。
- 11 忘れず
忘れず。

美濃^{みのう}の狐^{きつね}は、小柄^{こてい}な女^{おんな}が狐^{きつね}をいっばい痛^{いた}んで市場^{いちば}に入^いってくるのを見ると、非常に喜^{よろこ}んだ。なぜなら、商人^{しょうにん}たちは皆^{みな}、美濃^{みのう}の狐^{きつね}を恐^{おそ}れて、誰も市場^{いちば}で簡^{かん}売^{ばい}をしていなかったからだ。美濃^{みのう}の狐^{きつね}はお話^{はなし}が面白^{おもしろ}くて死^しにそうだったのである。

「お前^{まへ}、どこから来た^{きた}!」美濃^{みのう}の狐^{きつね}は聞いたが、尾張^{おわり}の女^{おんな}は答^{こた}へない。美濃^{みのう}の狐^{きつね}は固^{かた}回り返^{かえ}り返^{かえ}り聞いた。固^{かた}固^{かた}の目^め、美濃^{みのう}の女^{おんな}はついに答^{こた}へた。「どこから来た^{きた}かなんて~知らな~い!」真鹿^{ましか}にされた~と聞^きいた美濃^{みのう}の狐^{きつね}は非常に怒^{いか}って、尾張^{おわり}の女^{おんな}を轢^はり殺^{ころ}そうとした。

ところが、本虫^{ほんむし}讀^よんことが起こった。尾張^{おわり}の女^{おんな}は、なんと片手^{ひとて}で美濃^{みのう}の狐^{きつね}の両手^{りょうて}を押^おさると、もう一方^{もういつぱう}の手に轢^はを握^{にぎ}って美濃^{みのう}の狐^{きつね}を打ち倒^{たお}めたのだ。美濃^{みのう}の狐^{きつね}が折^よれると、轢^はを換^かえてまた打^うった。打^うって打^うって¹⁰。

56

賞析

『今昔物語集』の描写^{びやう}はリアリズムだ。「尾張^{おわり}の女^{おんな}の轢^はは内^{うち}が付^ついていた」と書いてある。つまり、尾張^{おわり}の女^{おんな}の力が強^{つよ}すぎて、轢^はの上に美濃^{みのう}の狐^{きつね}の両^{りょう}手^てが付^つ着^くしてしまっただけ。しかも、見た目はかわいい女^{おんな}というのだから、余計^{あま}に恐^{おそ}ろしい。

美濃^{みのう}の狐^{きつね}が入^いると狐^{きつね}の前^{まえ}に生

十本^{じゅうほん}目の轢^はになった時^{とき}、美濃^{みのう}の狐^{きつね}はたまらず叫^{こゑ}んだ。「わたしが悪^{わる}かった! お前は本^{ほん}当^{とう}に恐^{おそ}ろしい女^{おんな}だよ!」その後、市場^{いちば}には以前の^{いぜん}にぎやかさが戻^{もど}った。

據説^よ在外^{がい}國^{こく}人の眼^{がん}裡^り、日本^{にっぽん}女性^{じょせい}の形^{かたち}象^{さう}は「既^い温^{おん}柔^{じゆう}又有^{また}氣^き質^{しつ}」¹⁰。但^た、真^ま的^{てき}是^し這^{この}樣^{やう}子^こ嗎^や? 若^も你^き也^も這^{この}麼^や相^あ信^{しん}的話^わ、我^{われ}推^{おし}薦^{すす}你^き看^み下^を去^い故^こ事^じ。

在美濃^{みのう}國^{こく}、有^あ個^{ひと}名^な叫^よ「美濃^{みのう}之^の狐^{きつね}」の女^{おんな}子^こ。

據傳^よ説^{せつ}、這^{この}個^{ひと}女^{おんな}子^この祖^そ先^{せん}聖^{せい}了^{りやう}狐^{きつね}為^な妻^{つま}、有^あ此^{この}一^{いつ}説^{せつ}、被^お稱^{せう}為^な日^に本^{ほん}空^{くう}上^{じやう}最^{さい}強^{きやう}の陰^{いん}陽^{りやう}師^し——安倍晴明^{あべはるあき}的^{てき}母親^{はは}也^も是^し狐^{きつね}狸^り。在^{この}平^{へい}安^{あん}時^じ代^{だい}、所^{この}謂^いの狐^{きつね}狸^り被^お認^{にん}為^な是^し魔^ま力^{りき}非^ひ常^{じやう}強^{きやう}の動^{どう}物^{ぶつ}。

這^{この}位^{この}美濃^{みのう}之^の狐^{きつね}擁^{よう}有^あ百^{ひゃく}人^{にん}之^の力^{りき}、無^な人^{ひと}能^た敵^{てき}。她^{この}利^り用^{りよう}這^{この}一^{いつ}點^{てん}、在^{この}市^{いち}場^ば將^{まさ}奪^{だつ}人^{にん}為^な生^{せい}。真^ま的^{てき}是^し隻^{しつ}陰^{いん}陽^{りやう}師^しの半^{はん}妖^{えい}。

當^{この}時^じ、尾^お張^{わり}國^{こく}有^あ一^{いつ}個^{ひと}女^{おんな}子^こ、其^{その}名^な不^ふ詳^{じやう}。在^{この}這^{この}個^{ひと}時^じ代^{だい}、文^{ぶん}字^じ記^き載^{さい}上^{じやう}不^ふ會^わ留^{りう}下^か女^{おんな}性^{じやう}の名字^{なまえ}。據^よ知^ち《源^{げん}氏^し物^{ぶつ}話^わ》の作^{さく}者^{しや}紫^{むらさき}式^{しき}部^ぶ也^も不^ふ是^し真^ま名^な。所^{この}謂^いの「紫^{むらさき}」、是^し《源^{げん}氏^し物^{ぶつ}話^わ》中^{ちゆう}女^{にょ}主^{しゆ}角^{かく}の名字^{なまえ}、而^{しか}「式^{しき}部^ぶ」則^{すなは}ち她^{この}父^{ちち}親^{しん}の

轢^はは十本^{じゅうほん}目の轢^はになった時^{とき}、美濃^{みのう}の狐^{きつね}はたまらず叫^{こゑ}んだ。「わたしが悪^{わる}かった! お前は本^{ほん}当^{とう}に恐^{おそ}ろしい女^{おんな}だよ!」その後、市場^{いちば}には以前の^{いぜん}にぎやかさが戻^{もど}った。

據説^よ在外^{がい}國^{こく}人の眼^{がん}裡^り、日本^{にっぽん}女性^{じょせい}の形^{かたち}象^{さう}は「既^い温^{おん}柔^{じゆう}又有^{また}氣^き質^{しつ}」¹⁰。但^た、真^ま的^{てき}是^し這^{この}樣^{やう}子^こ嗎^や? 若^も你^き也^も這^{この}麼^や相^あ信^{しん}的話^わ、我^{われ}推^{おし}薦^{すす}你^き看^み下^を去^い故^こ事^じ。

在美濃^{みのう}國^{こく}、有^あ個^{ひと}名^な叫^よ「美濃^{みのう}之^の狐^{きつね}」の女^{おんな}子^こ。

據傳^よ説^{せつ}、這^{この}個^{ひと}女^{おんな}子^この祖^そ先^{せん}聖^{せい}了^{りやう}狐^{きつね}為^な妻^{つま}、有^あ此^{この}一^{いつ}説^{せつ}、被^お稱^{せう}為^な日^に本^{ほん}空^{くう}上^{じやう}最^{さい}強^{きやう}の陰^{いん}陽^{りやう}師^し——安倍晴明^{あべはるあき}的^{てき}母親^{はは}也^も是^し狐^{きつね}狸^り。在^{この}市^{いち}場^ば將^{まさ}奪^{だつ}人^{にん}為^な生^{せい}。真^ま的^{てき}是^し隻^{しつ}陰^{いん}陽^{りやう}師^しの半^{はん}妖^{えい}。

當^{この}時^じ、尾^お張^{わり}國^{こく}有^あ一^{いつ}個^{ひと}女^{おんな}子^こ、其^{その}名^な不^ふ詳^{じやう}。在^{この}這^{この}個^{ひと}時^じ代^{だい}、文^{ぶん}字^じ記^き載^{さい}上^{じやう}不^ふ會^わ留^{りう}下^か女^{おんな}性^{じやう}の名字^{なまえ}。據^よ知^ち《源^{げん}氏^し物^{ぶつ}話^わ》の作^{さく}者^{しや}紫^{むらさき}式^{しき}部^ぶ也^も不^ふ是^し真^ま名^な。所^{この}謂^いの「紫^{むらさき}」、是^し《源^{げん}氏^し物^{ぶつ}話^わ》中^{ちゆう}女^{にょ}主^{しゆ}角^{かく}の名字^{なまえ}、而^{しか}「式^{しき}部^ぶ」則^{すなは}ち她^{この}父^{ちち}親^{しん}の

轢^はは十本^{じゅうほん}目の轢^はになった時^{とき}、美濃^{みのう}の狐^{きつね}はたまらず叫^{こゑ}んだ。「わたしが悪^{わる}かった! お前は本^{ほん}当^{とう}に恐^{おそ}ろしい女^{おんな}だよ!」その後、市場^{いちば}には以前の^{いぜん}にぎやかさが戻^{もど}った。

據説^よ在外^{がい}國^{こく}人の眼^{がん}裡^り、日本^{にっぽん}女性^{じょせい}の形^{かたち}象^{さう}は「既^い温^{おん}柔^{じゆう}又有^{また}氣^き質^{しつ}」¹⁰。但^た、真^ま的^{てき}是^し這^{この}樣^{やう}子^こ嗎^や? 若^も你^き也^も這^{この}麼^や相^あ信^{しん}的話^わ、我^{われ}推^{おし}薦^{すす}你^き看^み下^を去^い故^こ事^じ。

在美濃^{みのう}國^{こく}、有^あ個^{ひと}名^な叫^よ「美濃^{みのう}之^の狐^{きつね}」の女^{おんな}子^こ。

據傳^よ説^{せつ}、這^{この}個^{ひと}女^{おんな}子^この祖^そ先^{せん}聖^{せい}了^{りやう}狐^{きつね}為^な妻^{つま}、有^あ此^{この}一^{いつ}説^{せつ}、被^お稱^{せう}為^な日^に本^{ほん}空^{くう}上^{じやう}最^{さい}強^{きやう}の陰^{いん}陽^{りやう}師^し——安倍晴明^{あべはるあき}的^{てき}母親^{はは}也^も是^し狐^{きつね}狸^り。在^{この}市^{いち}場^ば將^{まさ}奪^{だつ}人^{にん}為^な生^{せい}。真^ま的^{てき}是^し隻^{しつ}陰^{いん}陽^{りやう}師^しの半^{はん}妖^{えい}。

當^{この}時^じ、尾^お張^{わり}國^{こく}有^あ一^{いつ}個^{ひと}女^{おんな}子^こ、其^{その}名^な不^ふ詳^{じやう}。在^{この}這^{この}個^{ひと}時^じ代^{だい}、文^{ぶん}字^じ記^き載^{さい}上^{じやう}不^ふ會^わ留^{りう}下^か女^{おんな}性^{じやう}の名字^{なまえ}。據^よ知^ち《源^{げん}氏^し物^{ぶつ}話^わ》の作^{さく}者^{しや}紫^{むらさき}式^{しき}部^ぶ也^も不^ふ是^し真^ま名^な。所^{この}謂^いの「紫^{むらさき}」、是^し《源^{げん}氏^し物^{ぶつ}話^わ》中^{ちゆう}女^{にょ}主^{しゆ}角^{かく}の名字^{なまえ}、而^{しか}「式^{しき}部^ぶ」則^{すなは}ち她^{この}父^{ちち}親^{しん}の

とちぎ
栃木：75
きゅうび きつね
九尾の狐

標木：九尾狐

図／水画



妖怪ファイル

九尾の狐（きゅうびのきつね）

別名：オサキ（尾裂狐）

外型：有九條尾巴

能力：化身為美女魅惑男性

曾化身的人物：妲己、華陽夫人、
褒姒、玉藻前



42 この狐は、昔さんには馴染み深いに違いない。そう、中国妖怪「九尾の狐」だ。伝説に拠れば、はるばる中国から日本の京都へやってきた九尾の狐は、「玉藻前」という絶世の美女に姿を変え、なんと「上皇」まで、その色香によって感わしたと言う。

這名字大家應該都很耳熟，沒錯，就是中國妖怪「九尾狐」。據傳，九尾狐從中國大老遠地來到日本京都，化身為名叫「玉藻前」的絕世美人，連上皇都被其美色迷惑！

いわ
岩になった妖怪
ようかい
變成石頭的妖怪

變成石頭的妖怪

九尾の狐の物語（日本版）はこんな感じだ。平安時代末期、鳥羽上皇は玉藻前という若い宮廷女官を大変寵愛した。玉藻前は花かと思えばかき麗麗な美女だっただけでなく、賢く抜け目なかった。高妙なことに、彼女を寵愛するようになってから、上皇は次第に体が衰弱し、ついには病の床に就いてしまった。陰陽師——安倍泰成は玉藻前が妖怪であると見抜き、妖術降伏の法を行った。玉藻前はとうとう九尾の狐の本性を現わし、宮廷から逃げ出して、行方をくらました。

後に、九尾の狐が那須野で悪事を働いているという知

らせを受けた鳥羽上皇は、ただちに三浦義明を将軍に任命し、大男の大軍（ちよっと犬げさ？）を以って、これを調伏しようとした。九尾の狐がいくらすさまじい力を持っていても、所詮は多勢に無勢、最後は斬り殺されてしまった。だが、恐るべきことに九尾の狐は死後に岩となり、そこに近づく動物、またその上を飛んだ鳥までも、岩が発する毒によって殺したのである。このため、岩は「殺生石」と呼ばれた。栃木県那須町には殺生石跡が残っていて、今では観光スポットになっている。

日本版九尾狐的故事如下。平安時代末期，鳥羽上皇非常寵愛一位名叫玉藻前的年輕宮廷女官。她不但貌美如花，絕美艷麗，還聰明伶俐。但奇怪的是上皇開始寵愛她後，身體便愈來愈虛弱，最後臥病在床。陰陽師——安倍泰成識破玉藻前為妖，並開始施法降伏。玉藻前終於變回原來的九尾狐，從宮廷中逃走，下落不明。

後來，得到九尾狐在那須野圖作非為的消息，鳥羽上皇立刻任命三浦義明為將軍，並派出八萬大軍（是否太誇張？）前去制伏。九尾狐再怎么厲害仍靠不敵軍，最後被砍死。但恐怖的是，九尾狐死後變成岩石，只要動物靠近那裡，甚至鳥飛過去都會因岩石所散發的毒而致死，因此稱它為「殺生石」。標木縣那須町仍留有殺生石的遺跡，現在成為了觀光景點。

86

鬼 おに 鬼



圖/水風

妖怪ファイル

鬼(おに)

別名：無

棲息地：山中、洞穴

外型：身高比常人高

其他：討厭豆子、桃子

關於「鬼」的語源

「鬼」的日文讀音「おに」據說源於「恩」的發音「おぬ」。意指着不見原本的模樣，不存於於現世的「物」(もの)。

註一：「おんどし」為古代日本男生穿的內褲。

「鬼」可說是最為膾炙人口的日本妖怪。「鬼門」包攬「北東」方向，而「北東」就是「丑寅」。因此日本人將「丑」(牛)和「寅」(老虎)的形象結合，創造了名叫「鬼」的妖怪。也就是頭上長牛角，嘴裡有老虎般的獠牙，穿著虎皮內褲。

53

日本で最も人口に膾炙していると言える妖怪。「鬼門」は「北東」の方向にある。「北東」、すなわち「丑寅」、よって日本人は「丑」(牛)と「寅」(虎)のイメージを混ぜ合わせて、「鬼」という妖怪を創り出した。頭には牛の角、口には虎のような牙、穿いているのは虎の皮のふんどしというわけだ。

87

河童 かわこ 河童



圖/水風

妖怪ファイル

河童(かわこ)

別名：河太郎(河太郎)

棲息地：河邊、沼澤等

興趣：相撲

其他：討厭發子、葫蘆

54

日本を代表する「水妖」。体態は小柄で瘦せているが、大変な力持ち。「相撲」が好きで、本物の力士でさえ敵わない。頭にはお盆のようなものがあり、水が溜まっている。この盆こそ河童の妖力の源らしく、もしうっかり頭の上の水をこぼしてしまうと、河童はたちまち力を失ってしまうと言う。好物はキュウリ。

日本代表性「水妖」。雖然身體又矮又瘦，但力大無窮。喜歡玩「相撲」，連大力士都敵不過他。頭上有著發聲子狀的東西儲水，這盆水似乎就是河童的妖力來源。據說若不小心將頭上的水打翻，河童會立刻喪失力氣。食物方面，愛吃小黃瓜。

芥川龍之介與《河童》

芥川龍之介於1927年所發表的小說。內容描述一名精神病患在「河童國」的經歷與回到原有現實生活之間的對比，藉以諷刺當時日本的社會現象。芥川完成此作品後於同年的7月24日自殺，這天又被稱為「河童忌」。

96

輪入道

わにゅうどう

輪入道



圖/水瀨

妖怪ファイル

輪入道(わにゅうどう)

別名: 無

外型: 穿著烈火的牛車車

輪中間有親男子的頭

特性: 偷看他經過的人會

遭遇不幸

其他: 常現身於京都等地

關於「片輪車」 (單輪車)

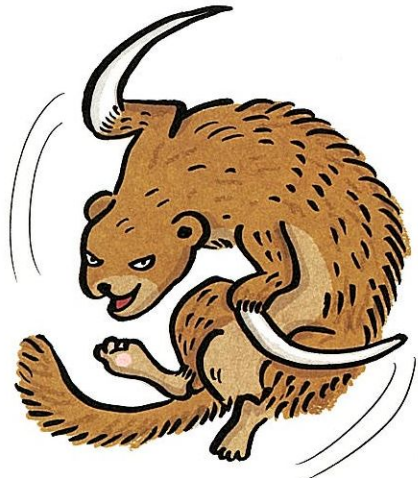
據說「單輪車」的外觀一樣是披火焰包圍的車輪，但是個美女坐在上頭。如果偷看「單輪車」的話，下場和看到「輪入道」相同，將會遭遇變故。

97

鎌鼬

かまいたち

鎌鼬



圖/水瀨

妖怪ファイル

鎌鼬(かまいたち)

別名: 窮奇

外型: 似鼬鼠、兩腕有著

銳利的鎌刀

出沒點: 有積雪的地區

岐阜縣的 「鎌鼬」傳說

據說在岐阜縣飛騨曾出現三隻一組的鎌鼬。第一隻將人絆倒，第二隻把人割傷，第三隻負責上藥。因此受傷的傷口不痛也不流血。

63

車輪の中央に「入道」の顔がある。車輪の外縁は炎が燃えている。この「入道」は、坊主頭という意味。その姿は恐ろしくもあり、少し滑稽でもある。輪入道は「ゲゲゲの鬼太郎」や「車灯の冷徹」等の妖怪漫画によく出てくる人気妖怪だ。

車輪中心有「入道」の臉。而且車輪的外圍有火焰在燃燒。這裡的「入道」是指像和尚那樣的頭之意，他的樣子既可怕又有點滑稽。輪入道經常在《GEGEGEの鬼太郎》、《鬼燈的冷徹》等妖怪漫畫中出現的人氣妖怪。

64

旋風と共に現れる妖怪。その姿は鼬に似ているが、両手が鎌になった。鎌鼬は人の皮膚を切り裂く。ただ、あまりに速すぎるせいか、普通の人間の目には鎌鼬の姿は見えず、旋風に巻き込まれたとしか感じない。後になって初めて、体に切り傷ができていることに気づくのだ。

伴隨旋風出現的妖怪。其外型像鼬鼠，但兩隻手為鎌刀。鎌鼬會割裂人的皮膚，但不知是否太過迅速，人的眼睛通常無法看到鎌鼬，只感覺被旋風捲起，後來才會發現身上受了刀傷。